

つむぐ～Tumugu～

「多機能型事業所になりました」

理事長 川崎 壽洋

2016年8月号

11年6月1日に就労継続支援A型事業所を開所して5年が経ち、6年目に入った。今年6月1日より就労継続支援B型事業も開始して多機能型事業所となりました。ぶうしすてむでは在宅就労も含めたパソコンを使った就労支援を行つて来たのですが、今後も基本路線は変わらずに続けて行きたいと思っています。

これまでA型事業しかなかつたのですが、B型事業も始めたことで多様な働き方やニーズに応えていけるのではないかと考えています。B型事業所では、1日5時間（休憩時間を含む）働くのが難しい人や、パソコンのスキルは低いけど他の就労移行支援事業所などには行きたくない人が、パソコンの仕事を少しづつ学びながら生活リズムを整えることから始めて、緩やかに就労に向けての準備をして行くといった人を想定しているのですが、プログラミングやホームページの作成など、高い技術を持っているものの短時間しか働けない人々は、最低賃金のA型事業所よりも時間当たりの単価が高くなる場合も出てきます。

ぶうしすてむだけでなく、他の事業所も含めてですが、A型事業所で働いている障がいのある人たちの中には、A型事業所に入ることが最終目標になつている人も数多く見受けられ、一般就労に対する意識が低いように感じています。

ぶうしすてむのA型事業所でも、年間を通して最低賃金分の仕事ができている人はほとんどないというのが現状で、仕事の効率（速度と品質）の向上を目指して行かないといけないと思っています。

B型事業所のお仕事は基本的に時給ではなく出来高制となつていて、たとえばアンケート入力のお仕事の場合でしたら1枚当たりの単価を設定して、1時間に10枚入力した人と50枚入力した人との差が5倍あります。頑張って働いた人に多くの収入が入ってくる仕組みとなつていて、仕事に対する意識が変わってくれれば良いと思っています。

今後、障がいのある人たちだけでなく、在宅就労も含めて時間や場所にとらわれない多様な働き方が求められる時代になり、また人工知能（AI）の普及とともに社会の構造も変わってきて、大きな変革が起きるのではないかと思いますが、その大きな変化の中でも柔軟に対応できるようにしたいと思っています。

多機能型事業所となりました「ぶうしすてむ」を今後ともよろしくお願ひいたします。

色あせた認定証（夢の途中）

副理事長 村上正人

一枚の色あせた認定証があります。日付は平成3年9月15日、25年も前の物です。

センチュリーラン、160km完走の証であり、私の宝物です。

ギランバレーのリハビリから始めたサイクリング、途中での心臓ペースメーカー埋め込み手術を経て、この宝物を手に入れるまでに7年かかりました。

所要時間：6時間5分30秒、平凡とも言えないタイムですが（優勝は4時間を切ります）、この6時間の為にどれだけのリハビリをしてきたのか。7年×365日×2時間=5,110時間。もちろん、全てが自転車の上ではありません。最初は自力で立つこともできません。だから、ベットの上で、車椅子で、お立ち台で、歩行器で、自力歩行で、ウォーキングで、ジョギングで、最後に自転車を始めたわけです。雨や雪の日は室内でローラーを、それ以外は氷が張るような寒い日でも、夏の暑い日でも毎日のように乗っていました。

この年のコースは、松山 - 今治 - 西条 - 今治 - 松山で、ほぼフラットでしたが朝倉の周越トンネルの坂が苦しかったです。

でも、地元ホームグランドでしたので、サポート隊のバックアップも沿道の応援もとてもうれしかったです。

レース終盤、残り5km位で「もう終わりなのか、この夢の様な時間が何時までも続いてくれれば」と願ったことを今でも鮮明に覚えています。

かっこよく言えば、「見てるのは路面状況だけ、聞こえているのは風の音だけ」※これじゃ事故りますが。

それほど、気持ちの良いものでした。

その後も、何レースかは出場しましたが、初レースの感動は格別でした。

何時までも続けていたかった自転車。

2度目のギランバレーに、その夢を碎かれてしまいました。

前回は7年でセンチュリーランに出れたのに、今回は12年のリハビリで、ウォーキングどまりです。

もう一度、ロードレーサーに乗れる日が来るのか。

それまで、リハビリを続けられるのか。

時間は残っているのか。

ただ、前回のリハビリを超えたトレーニングで体力的に貯金があったために、今回ここまで回復できたのでしょう。

レースに出る事が、目標ではないような…目標に向かって、毎日一歩でも進むことが目的のような…

いまだ夢の途中です。



特定非営利活動法人 ぶうしすてむ 事務局

〒790-0821

愛媛県松山市木屋町3丁目12-7

TEL 089-923-5002 FAX 089-923-5020

<http://www.busystem.jp/>

staff@busystem.jp

砥部事務所

愛媛県伊予郡砥部町八倉170

TEL 089-989-4400



会員にパソコンの面白さや操作方法をつたえる
『パソコンボランティア』を募っています。
経験のある方は、知識や技術を、
パソコンの苦手な方は、笑顔をお分けください。

ダンボクラブの発達障がい児向けパソコン講習会ご案内

9/24・10/24・11/26・12/10 13:30～15:30

詳細：左記事務所までお問い合わせください。



「障がいのある方によるプレゼン大会inえひめ」 発表者(発表者のサポーター)・傍聴者 募集!!

日時：平成28年8月27日(土) 13:00~16:00

場所：愛媛県身体障がい者福祉センター 2階 大会議室

内容：さまざまな障がいを抱えながら仕事をしたり、いろんな活動をされている、障がいある方が自らの体験を発表するイベントです。

発表方法：word powerPoint その他 特に規定はありません
powerPointで発表をされる方は、8/25までに、データをメールもしくはCD-Rに入れて郵送して下さい。

参加費：無料

申込期限：平成28年8月25日(木)

申込・問い合わせ：特定非営利活動法人 ぶうしすてむ

電話 089-923-5002 FAX 089-923-5020

Mail info@busystem.jp

プレゼン大会の前に！

8/26 前夜祭も計画しております。内容につきましては下記をご覧ください。

【参考】 <http://www.busystem.jp/>

プレゼン大会・前夜祭ともにご案内用紙ダウンロードできます。

主催：特定非営利活動法人 ぶうしすてむ

共催：特定非営利活動法人 ネセサリーフォー

【近詠五句】

泳ぎ出で 海黒くなる 静寂かな
朝より 何か嬉しき 五月晴
青芒 其の一画を いとほしみ
真先に咲るる 梅雨の木槿かな
一点や 石榴の花の あるあたり



重川洋一@松前町

きゅうりの佃煮♡

この時期手に入りやすいきゅうりで
佃煮はいかがでしょうか♡
保存もきいて暑い夏の食卓の箸休めに
最適です。

材料

きゅうり 1kg A (砂糖 100g・酢 80cc
塩 20g 生姜 1/2片・鷹の爪1本

塩昆布 30g

手順

- ①きゅうりは厚み2mm程度の輪切りにし塩(20g)で一晩つける
- ②一晩経ったらきゅうりをしっかり絞って水分をきる
- ③Aを鍋に入れ 混ぜる
- ④②を加え中火で汁気がなくなるまでひたすら煮る
- ⑤出来上がり寸前に塩昆布をいれて少し煮る
- ⑥粗熱がとれたら冷蔵庫で保存

砂糖・塩昆布は好みで調整して下さい。

作り方：A.9(友情出演)



編集後記

先日、広島の友人から電話があった。いつもの雑談の後「そうそう、来年和倉温泉で還暦同窓会をするらしいよ。その時会おうよ」と切れた。和倉？検索、検索。なんと遠いこと。でも、憧れのサンダーバードにも乗ると単純な私は今から和倉にワクワク。待て、『還暦』って自分のこと? (ー;) まっいいか! 皆に会えるなら! 例え、鬼に笑われても(ー;)…。

葉月



祝 やまがた アビリンピック2016 出場手錢ひとみさん

表計算競技 最優秀賞受賞者 手錢ひとみさんは平成28年10月28日・29日 やまがたアビリンピック2016に愛媛県代表として出場されます。皆様の暖かな応援よろしくお願いします。

えひめアビリンピック2016

【日時】7月16日(土) 9:00 ~ 15:00 【場所】ポリテクセンターえひめ

【目的】障害者の職業能力の開発等を促進し、技能労働者として社会に参加する自信と誇りをもってもらうとともに、広く障害者に対する社会の理解と認識を高め、雇用の促進を図ること

【競技種目】

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ワープロ競技(文書作成) | ② 表計算競技 |
| ③ 箱作成競技(箱折) | ④ 喫茶サービス競技 |
| ⑤ ビルクリーニング競技 | ⑥ オフィスアシスタント競技 |

ぶうしすてむからの出場者の結果

表計算 3名

最優秀賞 手錢ひとみ 優秀賞 藤井秀則 敢闘賞 片伯部考思

ワード 1名

敢闘賞 和田保彦

【参考】

愛媛県

http://www.pref.ehime.jp/h30500/ginoushinkou/menu_abilympics.html

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛媛支部

<http://www.jeed.or.jp/location/shibu/ehime/ehimeabilin2016.html>

やまがた アビリン <http://yamagata-wazaou.jp/index.html>

業務の切り出し&手作り自助具 紹介

名刺管理業務の切り出し

- ① 名刺 スキャン
- ② データの編集 文字確認(誤字・脱字等の修正)

目的：業務を細分化する事により障がいをお持ちの方が従事可能な「仕事」を明確にし、障がいをお持ちの方が出来る事が広がります。

Wさん 身体障がい(左半身マヒ) 男性45歳

◆Wさんの仕事への希望

片麻痺の障がいがあるが、出来る範囲で仕事の幅(可能性)を広げたい。

◆Wさんの名刺スキャン作業を補助する手作り自助具について
工夫した点

名刺のピントをあわせる

- ・ipadと名刺の位置の固定
- ・採光の取り入れの調整

名刺の出し入れを容易にする。

- ・スライド式板に名刺を乗せ所定の位置におく
- ・行き止まりとサイドにガードラインを作る



自助具：職員作

自助具の素材はダンボールで手づ

くり感満載ですが、現場でWさんのニーズを聴きながら微調整の効く優れものです。そのおかげで、スキャンの枚数が日々増え、笑顔も増えたWさんです。今後も、利用者さんの「希望と能力の可能性」に目を向け、ともに『ディーセント・ワーク』を感じられる仕事をしていくように研鑽したいと思います。

〈注〉

- ②データの編集業務：入力の得意な他の利用者の方が遂行

ディーセント・ワーク：働きがいのある人間らしい仕事